

Mizuho Daily Market Report

2023/2/15

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	132.05	133.16	+0.74	+2.09
EUR	1.0732	1.0738	+0.0015	+0.0012
AUD	0.6962	0.6986	+0.0020	+0.0027
SGD	1.3278	1.3284	▲0.0003	+0.0042
CNY	6.8185	6.8279	+0.0096	+0.0433
MYR	4.3507	4.3472	▲0.0150	+0.0447
THB	33.86	33.81	▲0.09	+0.20
IDR	15157	15160	▲35	+15
PHP	54.85	54.86	+0.09	▲0.23
INR	82.74	82.76	+0.04	+0.06

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.744%	+4.2 bp	+7.0 bp
日本(10年)	0.510%	▲0.1 bp	+0.9 bp
ユーロ圏(10年)	2.438%	+7.0 bp	+8.9 bp
オーストラリア(5年)	3.539%	▲1.5 bp	+18.5 bp
シンガポール(5年)	2.977%	▲0.7 bp	+11.9 bp
中国(5年)	2.682%	+0.4 bp	+0.0 bp
マレーシア(5年)	3.591%	▲2.3 bp	+8.8 bp
タイ(5年)	2.116%	▲0.1 bp	+4.3 bp
インドネシア(5年)	6.410%	+0.9 bp	+2.4 bp
フィリピン(5年)	5.980%	+0.8 bp	+3.7 bp
インド(5年)	7.316%	+2.4 bp	+14.9 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,089.27	▲0.5%	▲0.2%
N225(日本)	27,602.77	+0.6%	▲0.3%
STOXX50(ユーロ圏)	4,238.76	▲0.1%	+0.7%
ASX(オーストラリア)	4,345.08	▲0.0%	+0.8%
FTSTI(シンガポール)	3,318.20	▲0.2%	▲1.9%
SSEC(中国)	3,293.28	+0.3%	+1.4%
KLSE(マレーシア)	1,483.97	+0.6%	+0.5%
SETI(タイ)	1,652.76	▲0.7%	▲1.7%
JKSE(インドネシア)	6,941.855	+0.6%	+0.1%
PSE(フィリピン)	6,791.24	▲0.7%	▲1.3%
SENSEX(インド)	61,032.26	+1.0%	+1.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	273.56	+0.3%	+1.0%
金	1,854.31	+0.0%	▲1.0%
原油(WTI)	79.06	▲1.3%	+2.5%
銅	8,916.50	+0.0%	+0.3%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	131.50	—	133.50
EUR/USD	1.0640	—	1.0800
AUD/USD	0.6870	—	0.7040
USD/SGD	1.3230	—	1.3350
USD/CNY	6.8100	—	6.8580
USD/MYR	4.3330	—	4.3890
USD/THB	33.65	—	34.05
USD/IDR	15100	—	15250
USD/PHP	54.60	—	55.10
USD/INR	82.40	—	83.20

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (2)	<	Bear (4)
USD/SGD	Bull (2)	<	Bear (4)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は132円台半ばの水準でオープン。次期日銀総裁案が提示されるも目立った値動きには繋がらず、前日のドル高の反動から132円ちょうど近辺でのじり安の展開となる。午後には131円台まで割り込み、131円台後半の水準で海外時間へ渡った。

アジア通貨は米CPIの公表を控え方向感を欠く展開。人民元、THBやSGDも小動きに終始。なお、昨日はインドの1月卸売物価が公表され、市場予想の前年比+4.5%に対して+4.7%と、前日に公表されたCPIに続き市場予想対比上振れとなった。今月のインド中銀の金融政策会合では一部で予想されていた利上げ打ち止め感は示されなかったことに加え、インフル指標の高止まりを踏まえると、次回4月の会合でも追加利上げの可能性が高まっているとみられる。

海外時間のドル円は、主だった手掛かりに欠ける状況下、レンジトレードが続き、133円台前半の水準でNYオープン。NY時間朝方は米1月CPIの結果を受けて発表直後に一時132円台後半の水準まで上昇するなど乱高下。前月比ベースでは予想通りの内容となるも、前年比ベースでは予想を上回っており、発表直後の売り買いが一巡すると、インフル長期化懸念が台頭し、ドル円は買い優勢となり、一時133円台前半の水準まで上昇。NY時間午後には買いが一巡するも、133円台前半で底堅く推移し、結局、133円台前半の水準でクローズした。

【金利】

米債市場ではカフがへア・フラット化。予想を上回る米物価指標を受けて、引き締め長期化が意識されたとみられる。

【予想】

本日のドル円はドル買いの流れが継続すると予想。月初に発表された米雇用統計は強い結果であったが、昨日発表の米CPIも予想を上回る結果となっており、5月FOMCでの利上げ継続に対する期待感が広がっている状況。ドル円はじり高推移となるか。

【本日の予定】

(日本) 12月 第3次産業活動指数
(日本) 輪番 1-3y、5-10y、10-25y、25y超
(アジア) 1月 インド 輸出 / 輸入
(アジア) 1月 インドネシア 国内自動車販売
(アジア) 1月 インドネシア 貿易収支
(欧州) 12月 ユーロ圏 貿易収支 / 鉱工業生産
(欧州) 12月 英 住宅価格指数
(欧州) 1月 英 CPI / PPI
(欧州) 1月 英 小売物価指数
(欧州) 独 国債入札(30Y)
(米国) 12月 企業在庫
(米国) 1月 小売売上高
(米国) 1月 鉱工業生産 / 設備稼働率 / 製造業
(米国) 2月 NAHB住宅市場指数
(米国) 2月 ニューヨーク連銀製造業景気指数
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) 国債入札(20Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。